

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	てとてきっず		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 20日		2025年 12月 4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 14名	(回答者数)	14名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 16日		2026年 2月20 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の子どもの状況に応じた支援計画の作成やアセスメントが適切に行われている。	・アセスメントを実施し、子どもや保護者のニーズを踏まえた支援計画を作成している。 ・日々の記録や観察をもとに支援内容を見直し、個別支援に活かしている。	・アセスメント内容をより具体的に支援へ反映できるよう検討を行う。 ・定期的な見直しやモニタリングを強化していく。
2	職員間の情報共有や連携が図られ、支援の質の維持・工場に務めている。	・日々の申し送りや記録を通して職員間で情報共有を行っている。 ・ヒヤリハットや支援内容について職員間で共有し、改善につなげている。	・情報共有の方法を整理し、より統一的な支援につなげる。 ・振り返りやケース検討の機会を増やし、支援の質の向上を図る。
3	安全面への配慮や研修の実施など、安心して利用できる体制づくりに取り組んでいる。	・避難訓練等を実施し、安全確保に努めている。 ・研修を受講し、内容を職員間で共有している。	・安全管理計画の整備や内容の明確化を進める。 ・研修内容をより実践に活かせる仕組みづくりを行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携や交流の機会が少ない。	・地域との関わりを意識した取り組みが十分に実施出来ていない。 ・外部との連携機会が限定的である。	・地域行事や関係機関との連携機会を検討する。 ・外部との関わりを意識した活動の導入を検討する。
2	安全管理体制の計画の明確化が不十分。	・安全管理に関する計画やマニュアルの整備状況が不明確。 ・実施（訓練）はあるが体系化されていない。	・安全管理計画やマニュアルの整備・見直しを行う。 ・職員間での共有と定期的な確認体制を整える。
3	身体拘束や家族連携等について、体系的な取り組みが不足している。	・話し合いや都度対応では行っているが、仕組みとして整理されていない。 ・文章化やルール化が不十分。	・身体拘束に関する指針や対応フローの明確化を行う。 ・家族連携についても記録や共有方法を整理する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）

事業所名	てとてきっず
------	--------

公表日 令和8年3月20日

利用児童数 14人

回収数 14

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1				各部屋やスペースの使い方を工夫しながら、安全に配慮した効率的な活動が実施できるよう努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14					現在、利用児童10名に対して職員5～6名の職員が対応させて頂いております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	2			・玄関は段差がありますが、肢体不自由のお様はいらっしゃらないため良いのではないかと思います。	事業所内の構造化に努めております。建物の構造上、バリアフリーではない箇所がございますので、何かお手伝いが必要な場合はお気軽にお声がけ下さい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14				・とても綺麗にされてると思います！	今後とも、利用児童が心地よく過ごせる空間作りに努めていきます。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14				・一人一人にとっても寄り添って頂けてると思います。	これからも専門性を高められるよう社内・社外研修に参加し、より良い支援が提供できるよう邁進いたします。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14			1		H Pにて支援プログラムを公表しております。お子さま一人ひとりに合わせた支援ができるよう、引き続き努めてまいります。
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14			1	・保護者の私より細かいところまで見ていただいているので、感謝です。	個別支援計画を皆さんに好評価していただき大変嬉しく思っております。今後とも、利用児童と保護者様のニーズを丁寧に把握し、より質の高い計画の策定に努めていきます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14					より良い支援ができるよう、利用児童に必要な支援内容について具体的に設定できるよう努めてまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	1				今後支援内容をスタッフ全員が把握し、支援計画に沿った支援が行えるよう努めてまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14				・買い物体験で100円の設定金額を高校生はあげてもいいのではないのでしょうか？ ・毎回、持参してくる作品が楽しみです！	買い物体験につきましては、物価高騰を加味し全員200円に値上げしております。事業所内で食べることを前提とし、予算内で買い物する経験を目的とさせて頂いておりますので、設定金額に関しては全員一律とさせて頂いております。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	8		2	3	・あっているようですが、なかなかタイミングが合わずです	今年度は予定が合わず、一般学童との交流は出来ておりません。公園や図書館などに出かけた際、地域の子とも逢と交流する機会を持っております。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					契約時に全保護者様にお伝えしており、文書にてお渡ししておりますが、ご不明な点がございましたら、いつでもお答えします。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12		2			今後ともわかりやすい説明が出来るよう、努めてまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9			4		プログラムとしてペアレントトレーニングは行っておりません。ご相談等ある場合には個別に対応しております。今後何かございましたお気軽にご相談ください。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12		2		・こちらは申し分ないほど良くしていただいております。	今後とも保護者様と、利用者様についての共通理解が出来るよう、話しやすい環境を提供できるよう努めてまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1			・面談とは別に個人でご相談させて頂いたことは親身に話を聞いて下さり、アドバイスをいつも受け感謝しております。	支援計画の更新に合わせ、年に一回面談を行っておりますが、それ以外でも何かご相談がある際など、お気軽にお声掛けください。

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14				・先生方はみなさんそう感じます。	支援中や日々の様子などから、どのような支援が必要か利用児様に合わせた内容や教材の選択に努めてまいります。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	1	1	5	・必ず参加するようにしています。個人としては先生ともう少し近くお話ができたり、保護者様と交流ができるような機会が増えたら嬉しいかなと思っています。	年に一回保護者会を行っています。が、全員参加が難しい状況です。また、きょうだい児さんへの支援も検討しております。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13				1	・すぐにご連絡を頂け対応して下さるので、感謝しかありません。	お気軽に相談いただけるような環境を整えることを意識しております。お話いただいた内容につきましては迅速かつ適切に対応できるよう努めてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14					・連絡帳がたまに見られていない時があるので、大丈夫かなって思う時があります。ただ、本人が出ていないことは、わかっていますが…笑	連絡帳やLINEのメッセージを活用し、情報伝達を行っております。一日利用日の際は、お写真で利用児様の様子をお伝えするようにしております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14					・毎回、楽しみにしています。	現在、HPをリニューアル中です。また、公式LINEも稼働を予定しております。引き続き毎月のおたよりは発行いたします。1日利用の際は、お写真で利用児様の様子をお伝えするようにしております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	1			1		引き続き、個人情報の取り扱いについて十分に留意してまいります。
	非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9				5	
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7				7		年に2回、避難訓練・防災訓練を行っています。
25		事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13				2		今後も、安全確保を十分に行い、支援をしてまいります。
26		事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11				3	・ほとんど小さな事柄でも、きちんと説明して頂けるので、こちらが申し訳ないぐらいです。	今後も小さな事柄を含め、速やかで丁寧なご説明に努め、安心してご利用いただけるよう取り組んでまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14						今後も利用児様、保護者様共に安心できる環境作りと療育に努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12				1	・学校を頑張って行ける励みの様です。 ・気持ちとほうらはらに、行くところが楽しんでいます笑	楽しみながら登所していただき、将来に必要なコミュニケーションや生活スキルの取得が出来るよう、支援に努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13				1	・いつもありがとうございます不満足口です。 ・先生方には感謝しかありません。	今後とも事業所の運営・支援にご満足いただけることを目指し、スタッフ一同尽力してまいります。貴重なご意見ありがとうございます。

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名		ととてきつず		公表日		令和8年3月20日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	・活動スペースと静養スペースを分け、安全に過ごせる環境づくりを行っている。 ・子どもの特性に応じて過ごしやすい配置を工夫している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	・児童の状況に応じて職員配置を調整している。 ・安全面に配慮しながら支援体制を整えている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	・視覚的支援や構造化により、子どもが理解しやすい環境を整えている。 ・バリアフリーや環境配慮に務めている。	・個々の特性に応じた環境設定のさらなる工夫が必要。 ・設置面の見直しや改善が必要。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	・日々の清掃や整理整頓を行い、清潔な環境を保っている。 ・活動内容に応じてくん菅野使い分けを行っている。	・備品の整理や同線の見直しが必要 ・より快適に過ごせる空間づくりの工夫が必要。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	2	・必要に応じて個別スペースを確保し、落ち着ける環境を提供している。 ・子ども状態に応じて活動場所を調整している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	・職員会議等で振り返りを行い、支援改善につなげている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・保護者とのやり取りを通して行けんを把握している。 ・相談内用を支援に反映するよう努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・職員間で意見交換を行い、支援に反映している。 ・日々の申し送りで情報共有を行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2	・事業所評価を通して支援の振り返りを行っている。 ・必要に応じて関係機関と連携し、支援の質の向上を図っている。	・評価結果を具体的な改善に繋げていく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・研修への参加を促し、支援技術の向上を図っている。 ・職員間で研修内容を共有している。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	・支援プログラムを作成し、計画的に支援を行っている。	・定期的な見直しを行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	・保護者や子どもの状況を踏まえたアセスメントを行っている。 ・児童の特性に応じた支援計画を作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・職員間で児童の状況を共有し、支援内容を検討している。 ・必要に応じて関係機関とも情報共有している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	・個別支援計画を職員間で共有し、統一した支援を行っている。 ・日々の記録を通して情報共有を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	・日々の様子を観察し、支援に活かしている。 ・記録をもとに子ども成長を把握している。		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインに基づいた支援計画の作成を行っている。 ・子どもの特性に応じた具体的な支援内容を検討している。 	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で話し合いを行いながら活動内容を検討している。 ・子どもの興味や特性に合わせた活動を取り入れている。 	・活動内容の幅を広げるための工夫が必要。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のプログラム作成する担当を変えている。 ・季節行事や制作活動等を取り入れ、活動内容に変化を持たせている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい活動プログラムの検討を継続して行う。 ・子どもの発達段階に合わせた活動内容の充実を図る。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の特性に合わせた支援を行いながら集団活動へ参加できるように支援している。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援前に児童の状況を職員間で共有している。 ・支援方法について話し合いながら対応している。 	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援後に気づいた点を職員間で共有している。 ・日々の支援を振り返りながら改善につなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの時間を十分に確保する必要がある。 ・記録をより活用し支援改善につなげる。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の支援内容を記録し職員間で共有している。 ・記録をもとに支援内容の見直しを行っている。 	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に児童の状況を確認し支援内容の見直しを行っている。 ・保護者とも情報共有しながら支援を進めている。 	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議などを通して情報共有を行っている。 ・必要に応じて相談支援専門員と連携している。 	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて関係機関と情報共有を行っている。 ・子どもの状況に応じて連携を図っている。 	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて関係機関との情報共有を行っている。（園側との支援内容について会議等を行ったり、送迎時に情報共有を行っている。） 	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて関係機関と情報共有を行っている。 ・支援内容の引き継ぎに努めている。 	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて相談や助言を受けている。 ・専門機関と連携し支援に活かしている。 		

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	2	・外出活動を取り入れている。(公共のキッズスペースを利用し、他児との関わりを持つ機会があった)	・地域との連携を深めていく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・送迎時や面談等で保護者と情報共有を行っている。 ・子どもの状況について丁寧に伝えるよう努めている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	・保護者の相談に応じ、助言や支援を行っている。 ・必要に応じて関係機関と連携している。	・家庭支援プログラム等の体系的な実施が不足。 ・保護者向けの研修機会の確保が必要。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	・契約時に重要事項や利用内容について説明している。 ・不明点については個別に対応している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	・子どもや保護者の意向を確認しながら支援計画を作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	・支援計画の説明を行い、同意を得ている。 ・保護者の理解を得ながら支援を進めている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・送迎時などを利用して保護者と情報共有を行っている。 ・保護者の相談に応じながら支援を行っている。	・保護者との面談機会を増やす。 ・家庭との連携をより強化する。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	1	・保護者同士の交流機会を設けている。 ・情報共有を行っている。	・保護者同士の交流機会を増やす。 ・交流方法を検討する。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・苦情受付体制を整備している。 ・速やかな対応に努めている。	・周知方法の強化 ・再発防止の共有
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・活動内容をおたよりなどで伝えている。 ・必要な情報を保護者へ伝えている。	・情報発信方法の充実 ・わかりやすい情報提供
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・個人情報の管理を徹底している。 ・書類管理を適切に行っている。(鍵付き書庫に保管している)	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・子どもの特性に応じたコミュニケーション方法を用いている。 ・保護者とも情報共有を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	3	・必要に応じて地域の施設や公共施設を利用するなど、地域資源の活用にも努めている。 ・外出活動を通して地域の中での経験が出来る機会を設けている。	
非常時等の対	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	・各マニュアルを整備している。 ・避難訓練を実施している。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	・各マニュアルを整備している。 ・避難訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	・職員間で情報共有を行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	・職員間で情報共有を行っている。 ・子どもの健康状態を事前に確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1	・定期的に避難訓練を実施し、非常時に備えた対応の確認を行っている。 ・職員間で安全面に配慮しながら、子どもが安心して過ごせる環境作りを行っている。	

応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時など通して、子どもの様子や安全面について保護者と情報共有を行っている。 ・気になることがあった場合には、その都度保護者へ伝え連携を図っている。 	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット事例を職員間で共有し、意識工場に努めている。 ・気づいた点をその都度職員間で伝えあい、安全意識の向上に繋げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再発防止に向けた振り返りや検討の機会を増やし、職員全体での共有を更に深めていく必要がある。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて研修を受講し、知識の習得を図っている。 	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束について職員間で話し合い、認識の共有を行っている。 ・支援時の対応について日頃から検討している。 	